

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

[平面部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a)		法定福利費率(b)	歩掛		m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
30,900 ×	0.16074 ×		0.081	=	402.32 + 103.65	13,660円/m ²	505.96 ÷ 13,660 × 100
24,800 ×	0.16074 ×		0.026	=	505.96	(A-1仕様)	3.704

[立上り部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a')		法定福利費率(b')	歩掛		m ² 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
30,900 ×	0.16074 ×		0.130	=	645.69 + 163.44	18,100円/m ²	809.13 ÷ 18,100 × 100
24,800 ×	0.16074 ×		0.041	=	809.13	(A-1仕様)	4.470

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5
平面部	84.1% × 3.704 = 0.03115
立上り部	15.9% × 4.470 = 0.00711

[アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率]
 0.03115 + 0.00711 = 0.03628 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.03817

- ※1. 2025年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(令和6年度版)〔経済調査会刊〕を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100 = 法定福利費率
3,064 × 0.8560 × 0.16074	=	421.56	421.56 ÷ 12,433 × 100 = 3.391

[立上り部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	m ² 当りの法定福利費	m ² 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100 = 法定福利費率
3,124 × 0.8560 × 0.16074	=	429.82	429.82 ÷ 9,179 × 100 = 4.683

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4	
平面部	84.1% × 3.391 = 0.02852
立上り部	15.9% × 4.683 = 0.007446

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]
 0.02852 + 0.007446 = 0.03597

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 2025年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)